



KOBE BUSSAN CO., LTD.



2024年1月24日

各位

会社名 株式会社神戸物産  
 (コード番号：3038 東証プライム)  
 代表者名 代表取締役社長 沼田 博和  
 問合せ先 経営企画部 部長 坂本 匡浩  
 TEL 079-458-0339

2023年12月度 月次IRニュース

当社の2023年12月度の個別業績についてお知らせいたします。

記

1. 売上高・売上総利益・営業利益・経常利益の推移 (神戸物産単体)

【売上高】 (単位：上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
41,690	45,609						
112.8	110.2						
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期

【売上総利益】 (単位：上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
3,991	4,183						
128.1	120.7						
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期

【営業利益】 (単位：上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
2,389	2,542						
138.5	123.3						
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期

【経常利益】 (単位：上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
191	▲3,839						
109.7	—						
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期

(注) 上記実績は速報値であり、監査法人による監査を受けておりません。決算作業に伴い数値が修正となる場合は、更新時に修正いたします。また、前当期比較のため、子会社に対する有償支給は収益認識基準適用による有償支給の会計処理を月次では適用しておりません。期末決算においては適用した数値にて開示いたします。

2. 業務スーパー月次出店数

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期		
直轄エリア	出店数	0	0							
	退店数	0	0							
	店舗数	664	664							
地方エリア	出店数	2	0							
	退店数	0	0							
	店舗数	382	382							
FC店舗数合計		1,046	1,046							
直営店舗数合計		4	4							
総店舗数		1,050	1,050							
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期	
直轄エリア	出店数									
	退店数									
	店舗数									
地方エリア	出店数									
	退店数									
	店舗数									
FC店舗数合計										
直営店舗数合計										
総店舗数										

- 直轄エリア： 【北海道直轄】 北海道  
【関東直轄】 東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県  
【関西直轄】 大阪府・京都府・兵庫県（淡路島を除く）・奈良県・和歌山県・滋賀県  
【九州直轄】 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県
- 地方エリア： 上記以外の県

3. 当社から「業務スーパー」店舗への商品出荷実績（前年比）

（単位：％）

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期		
直轄エリア	既存店	108.7	106.9							
	全店	112.7	110.2							
全国*	全店	113.1	110.5							
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期	
直轄エリア	既存店									
	全店									
全国*	全店									

\*全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

#### 4. 概況

2023年12月度における月次業績につきましては、個別売上高は前年同期比**110.2%の456億9百万円**、売上総利益は同**120.7%の41億83百万円**、営業利益は同**123.3%の25億42百万円**、経常利益は**▲38億39百万円（前年同期は2億4百万円の経常黒字）**となりました。

12月度の業務スーパーの出店状況につきましては、当月中の出退店はなく店舗数は**1,050**店舗となっており、前年同期比で**39**店舗の増加となりました。引き続き、テレビ番組やSNSなどでご紹介いただいたことも売上高の増加に貢献いたしました。

商品出荷実績につきましては、直轄エリア既存店への商品出荷実績は前年同期比**106.9%**、直轄エリア全店への商品出荷実績は同**110.2%**、全国全店への商品出荷実績は同**110.5%**となり、好調に推移しております。

商品動向につきましては、引き続き利便性の高い冷凍野菜が好調に推移したことに加え、基礎調味料やお正月商材なども売上に貢献いたしました。

経常利益につきましては、引き続き為替予約に取り組んでおりますが、12月末にかけて大きく円高に振れたため、昨年同月と同様に営業外でそれらの時価評価損を計上いたしました。これらは一過性のものであり、発表日現在の為替水準は前月末から大きく円安方向に推移しておりますので、この為替水準が続く場合、24年1月度の月次では大きく改善するものと見込んでおります。

#### 5. 月次 IR ニュース公表予定日

1月度月次 IR ニュースにつきましては2月22日（木）を公表予定日とさせていただきます。ただし、予期せぬ理由で公表日が急遽変更となる場合がございますので予めご了承ください。

以 上